



高円宮杯 2014ホッケー日本リーグ【女子】 第1節 第1日

開催日時 4月19日(土) 会場 山梨学院ホッケースタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合	ソニーHC BRAVIA Ladies	4	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	0	東海学院大学
第2試合	山梨学院 CROWNING GLORIES	1	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 1 - 1 \end{pmatrix}$	2	グラクソ・スミスクライン Orrenge United

第1試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 4 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 東海学院大学

3 勝点
1 勝 0 分 0 敗

0 勝点
0 勝 0 分 1 敗

<得点>

ソニー : 17分石田, 33分坂井, 61分永井友, 67分中島

<戦評>

ソニーHC BRAVIA Ladiesのセンターパスにより前半戦が開始された。開始早々、SONYは立て続けにシュートを放つも決めることができない。直後、東海学院#10山口にグリーンカードの警告が出される。17分SONY #3及川の打ち込みに#7石田が反応し、ヒットシュートを決め、1-0とする。その後もSONYの猛攻は続きが東海学院大学の堅い守備により追加点をあげることができない。しかし、終了間際PCから#4坂井が豪快なフリックシュートを決め2-0とし、前半戦を折り返す。後半が開始され引き続きSONYは果敢に攻め続けるも、東海学院大学GK清水がファインプレーを見せる。一進一退の攻防が続く中 SONY #19永井友が待望の3点目をあげる。続く32分#10中島が4点目を決めそのまま4-0で試合が終了しSONYが勝利する。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	櫻本 千恵子・深沢 知美		木下 英貴

第2試合

山梨学院 CROWNING GLORIES 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 グラクソ・スミスクライン Orrenge United

0 勝点
0 勝 0 分 1 敗

3 勝点
1 勝 0 分 0 敗

<得点>

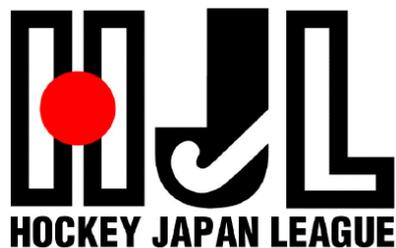
グラクソ : 5分柴田, 34分遠藤

山梨学院 : 46分河村

<戦評>

山梨学院 CROWNING GLORIES 対 グラクソ・スミスクライン Orrenge United の試合は、山梨学院のセンターパスにより開始された。開始4分、グラクソ #15市山の打ち込みに対して#11柴田が反応し、タッチシュートで1点とする。19分に山梨学院がゴール前まで攻め込み、何度もシュートを放つが得点にはいたらない。その後、両者一進一退の攻撃が続き、前半を折り返す。後半に入ると山梨学院ペースで試合が進み、何度もシュートチャンスを得るもグラクソの堅い守備により、決め切れない。しかし、46分山梨学院 #26河村がキーパーをかわし、待望の1点を決める。その後は互いに激しい攻撃が続くが終了間際にPCからグラクソ #14遠藤がヒットシュートを決め、2-1とし、グラクソが2-1で勝利した。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	櫻本 千恵子・深沢 知美		野澤 達



高円宮牌 ホッケー日本リーグ 【女子】 第1節 第 1 日

開催日時 4 月 19 日 (土) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

【試合結果】

コカ・コーラウエスト レッドスパークス 勝点3 1勝	8	$\begin{pmatrix} 5-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ 勝点0 1敗
南都銀行 SHOOTING STARS 勝点3 1勝	4	$\begin{pmatrix} 4-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	立命館大学ホリーズ 勝点0 1敗

コカコーラウエスト
レッドスパークス 8 $\begin{pmatrix} 5-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 3
1勝

勝点 0
1敗

7 PC 0
18 シュート 2

得点	CCWR→ 2・28・49分金藤、14分西田、21分小野、25分浅井、46分加藤、58分笠原
戦評	<p>コカ・コーラウエストレッドスパークスのセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々CCWRは天理大学陣内で猛攻を仕掛ける。CCWRは2分、MF#5西村のパスをFW#19金藤がダイレクトでゴール左下に決め先制する。14分、CCWRはPCを獲得。MF#3西田がフリックシュートをゴール右下に決め2-0と突き放す。その後もCCWRは22分にPCを獲得すると、FB#8小野が強烈なヒットシュートをゴール左下に決め3-0とする。その後も、25・28と加点し天理大学を突き放す。天理大学は、カウンターからMF#9辻井がドリブルで仕掛けるがコカの堅い守備に阻まれサークルイン出来ず、前半を5-0で折り返す。</p> <p>後半もCCWRは猛攻は続ける、天理大学はGK#1景山が好セーブをみせ粘る。それでも46分、CCWRはFW#9新井からパスを受けたFW#13加藤がプッシュシュートをゴール右下に冷静に決め6-0とする。その後もCCWRは攻撃の手をゆるめず、結局8-0の大勝で開幕戦を飾った。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世		
ジャッジ	我妻活美	アンパイア	山田恵美
	中野典子		壽山由樹

南都銀行
SHOOTING STARS 4 $\begin{pmatrix} 4-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 立命館大学ホリーズ

勝点 3
1勝

勝点 0
1敗

3 PC 2
9 シュート 4

得点	南都銀行→ 13分眞鍋、26分西岡、27. 34分平原
戦評	<p>立命館大のセンターパスにより試合が開始された。序盤は両チームともに果敢に攻撃を仕掛けるが得点することが出来ない。南都銀行は、13分にPCを獲得。FB#3眞鍋がヒットシュートをゴール右下に決め先制する。立命館大も20分にMF#17一谷からのパスを受けたMF#14佐々木がリバースシュートを放つが得点に結びつかない。26分、南都銀行は、MF#2高木がサークル内にボールを流し込むと、FW#11西岡がプッシュシュートをゴール左下に決め2-0とする。勢いにのる南都銀行は27・34分に平原が追加点を挙げ、勝利をたぐりよせ、前半を4-0で折り返す。</p> <p>後半、南都銀行は立ち上がりから立命館大陣内で優勢に試合を進める。その後は両チームとも一進一退の攻防が続く。25分、立命館大はPCを獲得。しかし得点することができない。そのまま南都は、立命館大を振り切り、第1戦を危なげなく勝ち勝点3とした。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世		
ジャッジ	我妻活美	アンパイア	根岸郁美
	中野典子		高橋英行